

教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年で「英語活動」を実施してきました。

平成31年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年で外国語科の授業時間数が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（第1学年は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区 分	各 教 科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英语研究委員会の自作動画教材『OK English(約8分の動画教材)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。動画の内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともに動画を繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料2】OK English



3 本校の取組

六名小学校では、週5日、8時15分から8時25分を「英語活動」の時間としています。児童は、『OK English』のDVDを視聴して、歌ったり、発音したりと、楽しんで英語に親しむことができています。DVDの視聴については、週の始めは、聞いて慣れ親しむことに重きを置いています。週の終わりにかけて、児童の定着度に合わせながら、消音や一時停止機能を活用して、児童が自分のことを英語で話したり、友達とやりとりしたりできるよう取り組んでいます。また、学級担任がDVDで学んだことの振り返りを行ったり、つけ加えをしたりしています。英語を聴いたり発音したりするこの時間を楽しみにしている児童がたくさんいます。

4 成果

児童の感想には、次のようなものがありました。

- ・リズムにのって、タイミングを合わせながら発音するのが楽しい。
- ・物語になっているので、「こういうときに使うんだ」と分かる。
- ・月曜日はあまり英語を言えなかったけど、金曜日には、少し大きな声で言えるようになった。
- ・「phonics」の回では、アルファベットの書き方や発音がよく分かる。
- ・英語タイムの歌や発音の繰り返しは、振り付けやジェスチャーがあって、ノリノリで言えるので楽しい。
- ・授業で学習した表現が出てきて、復習になる。
- ・「That is Koutyousitsu.」など、ずっと頭に残っていて、覚えやすい。

一週間を通して、同じ内容のDVDを繰り返し視聴し発音することで、英語の単語や表現に慣れ親しんでいることが分かります。それは、『OK English』の内容が、各学年の児童たちの発達段階を踏まえ、無理のない、分かりやすい内容になっていることが大きな要因であると考えます。また、英語で楽しく歌ったり、繰り返し発音したりするなど、児童が楽しいと感じる活動が多く含まれています。低学年から積み重ねて学習していることで、普段の「外国語科」「外国語活動」の授業でも、ALT・STと関わるときには、英語での会話を楽しんでいる児童を数多く見かけます。

5 まとめ

子供たちは日々のDVD視聴を通じて、英語で話されている内容をおおむね理解することができています。また、英語活動を通じて英語に慣れ親しみ、日常生活でも、英語に進んで関わろうとする態度が育っています。

今後の課題は、『OK English』で視聴した内容と、外国語活動の授業内容を関連させながら毎日の英語活動を進めていくことです。子供たちの「英語を使いたい」という意欲を高め、「英語が楽しい」「英語が好き」という気持ちをもちながら英語活動に取り組めるよう、さらに研究を進めていきたいと考えています。